消　　防　　団

大津市消防団のあゆみ

年	月	日	沿革
旧幕末時代元禄元年			■ 大工、左官、手伝職等 84 名の常備消防夫を選び、消防器具、篭、火叩、莚、溜桶、提灯、竜吐水、梯子、鳶、まとい等を備え、火災鎮圧の活動実施
明治 28 年	10 月	1 日	■ 勅令(第 15 号)消防組施行に基づき大津市消防組創設、組頭、部長、小頭、消防手の各階級を設置
大正 7 年	7 月	14 日	■ 在郷軍人会を主力として 356 人をもって従来の消防組を改組
昭和 8 年	4 月	1 日	■ 昭和 7 年 5 月 1 日滋賀村と合併、同 8 年 4 月 1 日膳所石山町と合併し、前町村を一丸とした大津市消防組を組織、組頭以下幹部 42 名、消防手 314 名1個大隊、4 ヶ中隊を以って編成
昭和 10 年	3 月	28 日	■ 全国優良消防組として大日本消防協会、内務大臣後藤文雄閣下より表彰状並びに表彰旗を授与
昭和 14 年	4 月	1 日	■ 勅令(第 20 号)警防団令施行に基づき、大津市警防団に改組 団長以下 982 名
昭和 18 年	4 月	1 日	■ 大津市警防団常備部設置、13 名の常備消防員を配置
昭和 22 年	4 月	30 日	■ 勅令(第 185 号)消防団令施行により大津市消防団に改組 1 団、12 ヶ分団に編成
昭和 23 年	9 月	15 日	■ 消防組織法施行に基づき大津市消防本部設置 ■ 初代消防団長　小西　幾太郎氏就任 団員数 1,083 名(条例定数 1,095 名)
昭和 25 年	4 月	1 日	■ 2 代目消防団長　奥村　悦造氏就任 団員数 1,083 名(条例定数 1,095 名)
昭和 26 年	4 月	1 日	■ 雄琴、坂本、下阪本、大石、下田上の五ヶ村と合併、5 ヶ分団を吸収し 1 団、17 分団体制
昭和 30 年	9 月	15 日	■ 坂本分団詰所を改築し、坂本分遣所を設置
昭和 42 年	4 月	1 日	■ 瀬田・堅田両町と合併、瀬田出張所を設置 ■ 同年堅田 5 分団、瀬田 2 分団を吸収し、1 団 24 分団体制
昭和 43 年	11 月	19 日	■ 晴嵐分団詰所が竣工
昭和 47 年	9 月	1 日	■ 3 代目消防団長　山岡　弥祐氏就任 団員数 1,083 名(条例定数 1,095 名)
昭和 51 年	4 月	1 日	■ 4 代目消防団長　横田　治雄氏就任 団員数 1,083 名(条例定数 1,095 名)
昭和 55 年	4 月	1 日	■ 5 代目消防団長　藤井　滋氏就任 団員数 1,084 名(条例定数 1,095 名)
昭和 59 年	4 月	1 日	■ 6 代目消防団長　辻　駒太郎氏就任 団員数 1,066 名(条例定数 1,095 名) ■ 膳所 1 分団・2 分団を合併し、膳所分団とし、新たに唐崎分団、富士見分団を設置
昭和 61 年	2 月	13 日	■ 東消防署に消防団瀬田分団庁舎を併設
昭和 63 年	4 月	1 日	■ 7 代目消防団長　寺田　武夫氏就任 団員数 1,081 名(条例定数 1,100 名)
平成元年	12 月	17 日 22 日	■ 消防団活動の強化及び団の活性化を固めるため、田上分団詰所を新築・移転 ■ 消防団活動の強化及び団の活性化を固めるため、仰木分団詰所を新築・移転

平成 3 年	4 月	1 日	■ 人口増加に伴う消防団活動の強化及び団活性化を目的として既存の瀬田分団を 4 分割し、瀬田分団・瀬田南分団・瀬田北分団・瀬田東分団を設置
		27 日	■ 瀬田南分団新設に伴う分団詰所完成
	6 月	15 日	■ 瀬田北分団新設に伴う分団詰所完成
平成 4 年	4 月	1 日	■ 8 代目消防団長　西田　千作氏就任 団員数 1,114 名（条例定数 1,200 名）
	6 月	13 日	■ 瀬田東分団新設に伴う分団詰所完成
平成 5 年	12 月	19 日	■ 消防団活動の強化及び団の活性化を固めるため、平野分団詰所を新築・移転
平成 6 年	4 月	1 日	■ 9 代目消防団長　三品　光三氏就任
	12 月	11 日	■ 消防団の強化、活性化事業の一環として藤尾分団詰所を竣工
平成 7 年	3 月	18 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として日吉台分団を新設するとともに、同分団詰所を竣工
		28 日	■ 市域南部地区における防災拠点である南消防署庁舎（晴嵐分団詰所併設）を新築・移転
平成 8 年	4 月	1 日	■ 10 代目消防団長　南部　政一氏就任 団員数 1,037 名（条例定数 1,200 名）
平成 9 年	3 月	15 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として長等分団詰所を新築・移転
	10 月	1 日	■ 女性消防団員 22 名が入団
平成 10 年	10 月	1 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として真野北分団を新設 （10 月 6 日、新設に伴う分団詰所完成）
			■ 大津市消防団からなるカラーガード隊（愛称ｵｵﾂﾌｧｲﾔｰｳｨﾝｸﾞｽ）が大津市制 100 周年記念式典において初披露
	11 月	7 日	■ 自治体消防発足 50 周年記念事業の一環として市民プラザにて防火防災推進大会を実施、市民など 1,700 名が参加
		28 日	■ 大津市制 100 周年記念、自治体消防発足 50 周年記念及び消防音楽隊発足 10 周年記念演奏会を開催
平成 11 年	3 月	7 日	■ 大津市制 100 周年記念、自治体消防発足 50 周年記念及び大津消防発足 50 周年を記念して、記念誌「大津消防のあゆみ」を発刊
	12 月	11 日	■ 第 6 回防火防災推進大会においてカラーガード隊 1 周年記念公演実施
		31 日	■ コンピューター西暦 2000 年問題に対応し、消防局・消防団が特別警戒体制を実施
平成 12 年	4 月	1 日	■ 11 代目消防団長　谷　　正男氏就任 団員数 1,043 名（条例定数 1,200 名）
	12 月	17 日	■ 消防団の強化、活性化事業の一環として、逢坂分団詰所を新築・移転
平成 13 年	4 月	28 日	■ 神戸市で開催された第 4 回全国消防音楽隊フェスティバルに大津市消防音楽隊・大津市カラーガード隊が参加
	9 月	1 日	■ 膳所小学校とその周辺街区において、初めての試みである町並みを活用した実践的な訓練として大津市総合防災訓練を実施
	12 月	16 日	■ 消防団の強化、活性化事業の一環として、堅田分団詰所を新築
平成 15 年	9 月	15 日	■ 志賀町北浜沖において 12 人乗りのヨットが転覆・沈没、内 7 名が行方不明となり消防・警察等関係機関、ボランティアによる捜索活動を延べ 23 日にわたり実施
	12 月	20 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として坂本分団詰所を新築・移転
平成 16 年	4 月	1 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として仰木の里分団を新設 （H15.12.13 新設に伴う分団詰所完成）

	5 月	22 日	■ 消防団の強化、活性化事業の一環として真野分団詰所を新築
	10 月	2 日	■ 浜松市で開催された第 5 回全国消防音楽隊フェスティバルに大津市消防音楽隊・大津市カラーガード隊が参加
平成 17 年	12 月	2 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として田上分団車を更新
平成 18 年	3 月	20 日	■ 志賀町と合併し 1 団 6 地区 35 個分団体制
	8 月	12 日	■ 市内工場において約 9,800 ㎡を消失する火災が発生
	12 月	1 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として晴嵐分団車を更新
平成 19 年	11 月	29 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として平野分団車並びに葛川分団坂下班積載車を更新
平成 20 年	4 月	1 日	■ 12 代目消防団長　泉　　恒彦氏就任 団員数 1,246 名（条例定数 1,356 名）
		13 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として藤尾分団詰所を新築・移転
	11 月	16 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として伊香立分団龍華班積載車並びに仰木分団上仰木班、大石分団淀班、上田上分団平野班小型動力ポンプを更新
平成 21 年	4 月	1日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として青山分団を新設し、青山市民センターに同分団詰所を新設
	12 月	6 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として藤尾分団車及び大石分団小田原班小型動力ポンプ積載車並びに畑分団外畑班、田上分団羽栗班小型動力ポンプを更新
		12 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として和邇文化センター敷地内に和邇分団詰所を新築
平成 22 年	12 月	4 日	■ 消防団員の救助技術の向上を目的として、救助資機材搭載型車両が本部分団に配備、さらに、上田上分団車・大石分団曽束班積載車を更新
平成 23 年	3 月	27 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として、雄琴分団詰所を増改築
	11 月	13 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として中央分団車を更新
平成 24 年	3 月	20 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として小松分団詰所を新築・移転
		25 日	■ 1 学区 1 分団制に基づく消防団組織の再編により、大津市消防団畑分団閉団式を開催
	4 月	1 日	■ 13 代目消防団長　目片　勇氏就任 団員数 1,278 名（条例定数 1,313 名） ■ 1 学区 1 分団制に基づく消防団組織の再編により、大津市消防団石山分団と南郷分団が発足、南郷分団畑班積載車を更新
	8 月	14 日	■ 大津市南部の局地的な集中豪雨により甚大な被害が発生、380 世帯 1,027 人に対して避難勧告が発令、消防局、消防団ともに、消火、水防活動から復旧活動まで終始総力を挙げて災害対応実施
	9 月	9 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として逢坂分団車及び瀬田分団車を更新
平成 25 年	2 月	28 日	■ 平成 24 年度に発生した大津市南部豪雨災害に係る消防活動の功績が認められ消防庁長官表彰を受賞 ■ 日本消防会館ニッショーホールで開催された全国消防団員意見発表会に近畿地区代表として本部分団員が出場し優秀賞を受賞
	9月	1 日	■ 平成 24 年度の南部豪雨災害の功績が認められ内閣総理大臣表彰を受賞
		15 日	■ 大津市消防局・消防団発足 65 周年にあたり記念式典を開催
		16 日	■ 台風 18 号の影響で 15 日夜から豪雨となり、16 日 5 時 05 分に全国初の大雨特別警報が発令され消防団員 791 名（36 分団）が出動し総力をあげて災害対応実施

	10 月	10 日	■ 消防団活動強化のため伊香立分団車を更新
	11 月	2 日	■ 消防団活動強化のため上田上分団新免班積載車並びに葛川分団細川班、上田上分団中野班の小型動力ポンプを更新
	11 月	25 日	■ 東京ドームで開催された消防団 120 年自治体消防 65 周年大会に参加
平成 26 年	2 月	16 日	■ 消防団地域防災指導員養成研修を実施
		17 日	■ 平成 25 年 9 月に発生した台風 18 号の災害対応に係る消防活動の功績が認められ消防庁長官表彰を受賞
	4 月	1 日	■ 地域防災の中心的な役割として活動するために、消防団員 108 名を地域防災指導員として任命
			■ 消防団員の退職報償金において、平成 26 年 4 月 1 日より最低支給額を 20 万円とし、一律 5 万円を引き上げ実施
	4 月	26 日	■ 消防団活動強化のため富士見分団詰所を新築・移転
	8 月	3 日	■ 滋賀県消防学校において開催された第 49 回滋賀県消防操法訓練大会に大津市代表として、ポンプ車操法の部に仰木の里分団、小型ポンプ操法の部に和邇分団が出場し、それぞれ 6 位入賞
	9 月	10 日	■ 平成 25 年 9 月に発生した台風 18 号の災害対応に係る消防活動の功績が認められ防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞
	10 月	11 日	■ 消防団活動強化のため長等分団車を更新
	11 月	26 日	■ 台風 18 号の災害対応に係る消防活動の功績が認められ水防功労者国土交通大臣表彰を受賞
平成 27 年	1 月	27 日	■ 消防団活動強化のため伊香立分団南庄班積載車を更新
		30 日	■ 消防団活動強化のため上田上分団堂班器具庫・堂水防倉庫を新設・移転
	2 月	8 日	■ 消防団地域防災指導員養成研修を実施
	3 月	6 日	■ 台風 18 号に係る災害対応、また、消防団地域防災指導員など大津市消防局との連携における功績が認められ消防功労者消防庁長官竿頭綬を受賞
	4 月	1 日	■ 消防団地域防災指導員として 132 名を任命
			■ 消防団員の報酬において、平成 27 年 4 月 1 日より総額 14.8%を引き上げ実施
	6 月	7 日	■ ポン操見直し検討委員会答申結果により、平成 27 年度から大津市消防操法訓練大会の開催時期が 6 月に変更
	7 月	15 日	■ 消防団員を増加させたことにより総務大臣から感謝状を授与
	10 月	10 日	■ 消防団活動強化のため真野分団車及び坂本分団坂本班の小型動力ポンプを更新
平成 28 年	2 月	7 日	■ 消防団地域防災指導員養成研修を実施
	4 月	1 日	■ 14 代目消防団長　八代　進氏就任
			団員数 1,297 名（条例定数 1,313 名）
			■ 第 14 期本部分団派遣団員として 11 名を任命
			■ 消防団地域防災指導員として 127 名を任命
	10 月	15 日	■ 消防団活動強化のため石山分団車を更新
平成 29 年	2 月	5 日	■ 消防団地域防災指導員研修を実施
	3 月	7 日	■ 優良消防団として日本消防協会から表彰状及び表彰旗を授与
	3 月	17 日	■ 消防団活動強化のため伊香立分団南庄班器具庫を改築
	4 月	1 日	■ 消防団地域防災指導員として 125 名を任命
	10 月	15 日	■ 消防団活動強化のため瀬田南分団車と上田上分団芝原班の小型動力ポンプを更新

平成 30 年	1 月	31 日	■ 消防団活動強化のため田上分団関津班車庫を移築
	2 月	4 日	■ 消防団地域防災指導員研修を実施
	3 月	7 日	■ 自治体消防発足 70 周年記念事業の一環として国技館で消防・防災活動活性化大会が開催される
	4 月	1 日	■ 第 15 期本部分団派遣団員として 11 名を任命
			■ 消防団地域防災指導員として 140 名を任命
	11 月	9 日	■ ウカルちゃんアリーナで開催された第 24 回全国女性消防団員活性化滋賀大会に参加
令和元年	10 月	5 日	■ 優良消防団として滋賀県消防協会から表彰状及び表彰旗を授与
令和 2 年	2 月	20 日	■ 消防団車両等の再編検討委員会答申結果により、車両等の適正配置再編計画策定
	4 月	1 日	■ 15 代目消防団長　今井　俊博氏就任 団員数 1,252 名（条例定数 1,313 名）
			■ 第 16 期本部分団派遣団員として 11 名を任命
			■ 消防団本部機構において、本部副団長を統括副団長に改め、機能強化として、活性化担当副団長を新設
	4 月	12 日	■ 消防団活動強化のため、総務省消防庁による無償貸付制度を活用し、瀬田北分団車を更新
	6 月	14 日	■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大津市消防操法訓練大会を中止
令和 3 年	4 月	1 日	■ 大規模災害時の消防団員確保と消防団活性化のため、学生団員を対象とした機能別団員制度を新設 団員数 1,236 名（条例定数：基本団員 1,293 名、機能別団員 20 名）
			■ 学生の就職活動を支援するとともに、学生の入団を促進するため、大津市学生消防団活動認証制度実施要綱を施行
	4 月	17 日	■ 消防団活動強化のため、田上分団関津班積載車を更新
	6月	13 日	■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大津市消防操法訓練大会を中止
令和 4 年	2 月	25 日	■ 消防団活動強化のため、瀬田東分団車及び膳所分団車を更新
	3 月	20 日	■ 消防団地域防災指導員研修を実施
	4 月	1 日	■ 消防団員の処遇改善のため、関係条例を改正し、年額報酬等を引上 団員数 1,215 名（条例定数：基本団員 1,293 名、機能別団員 20 名）
			■ 第 17 期本部分団派遣団員として 11 名を任命
			■ 消防団地域防災指導員として 89 名を任命
	5 月	29 日	■ 3年ぶりに大津市消防操法訓練大会を実施
	10 月	2 日	■ 消防団活動の強化及び活性化を目的として和邇分団小野学区班車庫を新設
令和 5 年	3 月	4 日	■ 消防団活動強化のため、堅田分団車を更新
	3 月	16 日	■ 消防団活動強化のため、大石分団龍門班の小型動力ポンプを更新
	4 月	1 日	■ 団員数 1,214 名（条例定数：基本団員 1,293 名、機能別団員 20 名）
	4 月	3 日	■ 消防団活動強化のため、山中比叡平分団比叡平班積載車を更新

令和 6 年	3 月	8 日	■ 優良消防団として、日本消防協会長から竿頭綬を受賞
	4 月	1 日	■ 16 代目消防団長　金井　長光氏就任 団員数 1,178 名（条例定数 1,313 名） ■ 第 18 期本部分団派遣団員として 11 名を任命
	4 月	28 日	■ 消防団活動強化のため、総務省消防庁による無償貸付制度を活用し、日吉台分団車を更新
	7 月	14 日	■ 消防団活動強化のため、仰木分団車及び坂本分団車を更新
令和7年	2 月	2 日	■ 消防団地域防災指導員養成研修を実施
	3 月	5 日	■ 地域住民の安全の保持、向上に顕著な功績があり、全国の模範となる消防団として令和 6 年度消防団等地域活動表彰を受賞
	3 月	12 日	■ 消防団活動強化のため、伊香立分団下龍華班の小型動力ポンプを更新
	4 月	1 日	■ 団員数 1,193 名（条例定数 1,313 名） ■ 消防団地域防災指導員として 116 名を任命

令和6年度のできごと

●消防団の充実強化対策について

安全装備品（先芯入り長靴）の配備について

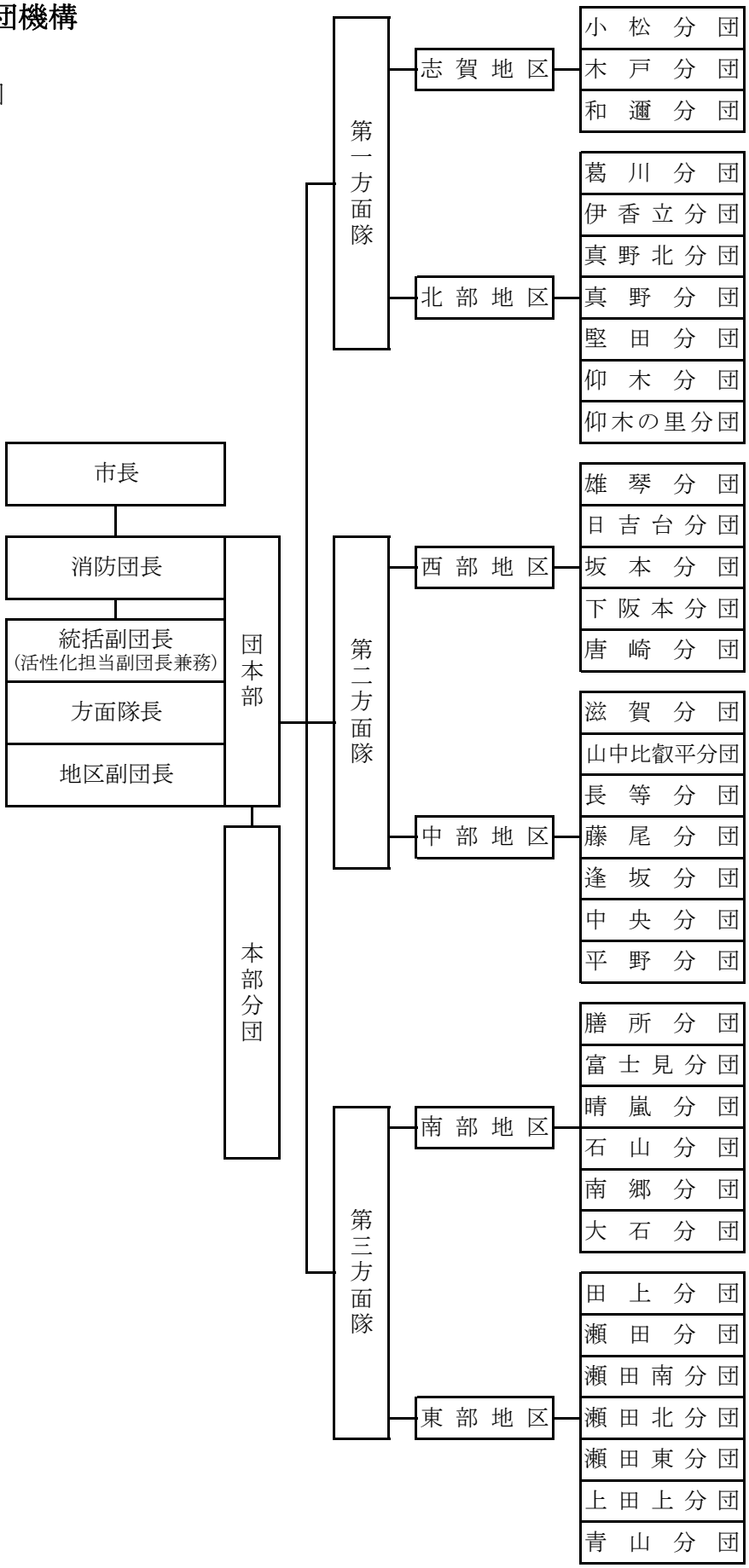
消防団員の安全強化対策のため、令和6年度コミュニティ助成事業の助成金を活用し消防団員用先芯入り長靴を整備しました。
長靴を整備することにより、台風や集中豪雨などによる活動時において、消防団員の安全確保に繋がります。

消防団車両の整備充実について

大津市消防団車両再編計画に基づき、仰木分団、日吉台分団および坂本分団の車両更新を行いました。

消防団機構

組織図


市長
消防団長
統括副団長
(活性化担当副団長兼務)
方面隊長
地区副団長
団本部
本部分団
第一方面隊
志賀地区
小松分団
木戸分団
和邇分団
北部地区
葛川分団
伊香立分団
真野北分団
真野分団
堅田分団
仰木分団
仰木の里分団
第二方面隊
西部地区
雄琴分団
日吉台分団
坂本分団
下阪本分団
唐崎分団
中部地区
滋賀分団
山中比叡平分団
長等分団
藤尾分団
逢坂分団
中央分団
平野分団
第三方面隊
南部地区
膳所分団
富士見分団
晴嵐分団
石山分団
南郷分団
大石分団
東部地区
田上分団
瀬田分団
瀬田南分団
瀬田北分団
瀬田東分団
上田上分団
青山分団

定数と現在数

大津市消防団は、団本部と3方面隊から構成され、6地区の各地域毎に35分団あります。基本団員の定数1,293人、機能別団員の定数20人の体制で、市民の安心、安全の確保を目指し消防団活動を展開しています。

■ 条例定数

基本団員1,293人・機能別団員20人

■ 現在員

基本団員1,184人・機能別団員9人

■ 消防団員1人に対する

面積	0.39	㎢
人口	287	人
世帯数	133	世帯

令和7年4月1日現在

		計		団長		副団長		分団長		副分団長		部長		班長		団員	
			(内女性)		(内女性)		(内女性)		(内女性)		(内女性)		(内女性)		(内女性)		(内女性)
計		1193	37	1		16		36	1	36		184		200	3	720	33
団本部・本部分団		43	9	1		16		1	1	1		1		2		21	8
志賀地区	小松分団	40						1		1		4		6		28	
	木戸分団	57						1		1		11		7		37	
	和邇分団	67	2					1		1		11		9		45	2
北部地区	葛川分団	31						1		1		6		8		15	
	伊香立分団	57						1		1		8		10		37	
	真野北分団	22	2					1		1		5		3	1	12	1
	真野分団	33						1		1		5		8		18	
	堅田分団	43	2					1		1		7		6		28	2
	仰木分団	43						1		1		5		5		31	
	仰木の里分団	24	2					1		1		4		4	1	14	1
西部地区	雄琴分団	34	1					1		1		6		6		20	1
	日吉台分団	25						1		1		4		8		11	
	坂本分団	34						1		1		7		5		20	
	下阪本分団	24						1		1		4		4		14	
	唐崎分団	31	2					1		1		5		5		19	2
中部地区	滋賀分団	23						1		1		4		4		13	
	山中比叡平分団	23						1		1		4		4		13	
	長等分団	26	1					1		1		4		4		16	1
	藤尾分団	25	2					1		1		4		4		15	2
	逢坂分団	18						1		1		4		4		8	
	中央分団	18						1		1		4		4		8	
	平野分団	22						1		1		5		5		10	
南部地区	膳所分団	29	2					1		1		5		6		16	2
	富士見分団	24	1					1		1		4		4		14	1
	晴嵐分団	34	7					1		1		4		7	1	21	6
	石山分団	23	1					1		1		3		6		12	1
	南郷分団	43						1		1		7		7		27	
	大石分団	46	1					1		1		7		7		30	1
東部地区	田上分団	49	1					1		1		7		11		29	1
	瀬田分団	24						1		1		4		4		14	
	瀬田南分団	27	1					1		1		4		4		17	1
	瀬田北分団	29						1		1		4		4		19	
	瀬田東分団	44						1		1		4		4		34	
	上田上分団	35						1		1		5		7		21	
	青山分団	23						1		1		4		4		13	

年齢状況

［令和7年4月1日現在］

	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	1193	1	16	36	36	184	200	720
20歳未満	4							4
20歳以上	19							19
25歳以上	31						1	30
30歳以上	48							48
35歳以上	119					2	11	106
40歳以上	215		1			15	32	167
45歳以上	238			1	4	36	54	143
50歳以上	234		1	6	11	59	55	102
55歳以上	161		5	12	13	42	30	59
60歳以上	105		6	17	8	27	16	31
65歳以上	19	1	3			3	1	11

平均年齢　47.38歳

勤続年数

［令和7年4月1日現在］

	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	1193	1	16	36	36	184	200	720
1年未満	76							76
1年以上	210					1	7	202
5年以上	248			2		15	54	177
10年以上	181				5	27	40	109
15年以上	203		2	7	5	47	52	90
20年以上	117		2	6	11	37	29	32
25年以上	88		8	9	6	36	14	15
30年以上	46		3	5	5	19	3	11
35年以上	19			7	4	2		6
40年以上	5	1	1				1	2

平均勤続年数　12.52年

出動件数

［令和6年中］

	火災	火災警戒	水防	水防警戒	訓練	その他
1月	3	4			4	18
2月					4	18
3月	3				2	20
4月					31	19
5月	5			1	72	29
6月	3				20	27
7月	5				17	32
8月					5	17
9月	4				6	23
10月	4				9	39
11月	4				4	68
12月	5	4			5	34
合計	36	8		1	179	344

出動人数

［令和6年中］

	火災	火災警戒	水防	水防警戒	訓練	その他
1月	25	176			60	897
2月					31	382
3月	40				21	475
4月					193	840
5月	67			12	379	693
6月	24				165	780
7月	22				105	786
8月					83	629
9月	68				258	602
10月	21				76	734
11月	48				68	1492
12月	56	1124			52	573
合計	371	1300		12	1491	8883

報酬及び費用弁償

■ 年額報酬　　［令和7年4月1日現在］

区分	金額	
団長	年額	91,000円
副団長	年額	67,500円
分団長	年額	50,000円
副分団長	年額	38,500円
部長	年額	37,500円
班長	年額	37,000円
団員	年額	36,500円
機能別団員	年額	9,000円

■ 機関員手当　　［令和7年4月1日現在］

区分	金額	
消防自動車の担当機関員	年額	6,000円
小型動力ポンプの担当機関員	年額	3,000円

■ 出動報酬　　［令和7年4月1日現在］

区分	金額	
災害出動の場合	1日	8,000円
		(4時間未満)4,000円
警戒の場合	1日	2,000円
訓練その他の活動の場合	1日	1,600円

■ 費用弁償　　［令和7年4月1日現在］

区分		
市内旅行時に支給 (路程2キロメートル以上)	路程2km以上10km未満	500円
	路程10km以上15km未満	1,000円
	路程15km以上20km未満	1,500円
	路程20km以上	2,000円

消防団員表彰

消防団員に関する表彰制度として、平素から職務に精励し、職務成績が優秀で他の団員の模範となる団員に対して行う表彰です。

［令和6年度］

		合計	消防団	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	元消防団員
合計		479		2	22	52	14	102	67	218	2
叙勲	瑞宝双光章										
叙勲	瑞宝単光章										2
褒章	藍綬褒章										
内閣総理大臣表彰											
国土交通大臣表彰											
消防庁長官	永年勤続功労章				3						
	防災功労										
	消防功労（竿頭綬）										
日本消防協会長	功績章				2						
	精績章				3	5					
	勤続章					2	1	9	1	7	
滋賀県知事	功労章										
	永年勤続功労章					2	1	6	2	4	
	勤続功労章					1	3	5	10	9	
滋賀県消防協会長	功績章					9					
	勤功章					5	1	15			
	勤続章					3	3	16	22	52	
	精励章								4	45	
	感謝状			1	7	14	2	22	10	47	
大津市長	勤続表彰					2	2	18	9	8	
	感謝状			1	7	9	1	11	8	13	
大津市消防団長									1	33	

車両等配置状況

■ 指揮車

［令和7年4月1日現在］

団本部	年式	乗車定員	車名	車種	規格等
	平成16年	7	三菱	パジェロ(4WD)	指揮車
計 1台					

■ 普通ポンプ自動車

方面隊	地区	分団名	年式	乗車定員	ポンプ種別	車名	車種	規格等
第一方面隊	志賀	小松分団	平成11年	6	A-2	いすゞ	エルフ(4WD)	CD-1
		木戸分団	平成6年	7	A-2	いすゞ	エルフ(4WD)	CD-1
		和邇分団	平成15年	6	A-2	いすゞ	エルフ(4WD)	CD-1
	北部	葛川分団	平成2年	6	A-2	トヨタ	ランドクルーザー(4WD)	BD-1
		伊香立分団	平成25年	8	A-2	トヨタ	ダイナ(4WD)	CD-1
		真野北分団	平成10年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		真野分団	平成27年	8	A-2	トヨタ	ダイナ(4WD)	CD-1
		堅田分団	令和5年	8	A-2	日野	デュトロ	CD-1
		仰木分団	令和6年	6	A-2	トヨタ	ダイナ(3.5t未満)	BD-1
		仰木の里分団	平成15年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
第二方面隊	西部	雄琴分団	平成9年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		日吉台分団	令和6年	6	A-2	トヨタ	ダイナ(3.5t未満)	CD-1
		坂本分団	令和6年	6	A-2	トヨタ	ダイナ(3.5t未満)	BD-1
		下阪本分団	平成14年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		唐崎分団	平成12年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
	中部	滋賀分団	平成13年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		山中比叡平分団	平成16年	10	A-2	トヨタ	ダイナ(4WD)	CD-1
		藤尾分団	平成21年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		長等分団	平成26年	8	A-2	日野	デュトロ	CD-1
		逢坂分団	平成24年	8	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		中央分団	平成23年	8	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		平野分団	平成19年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
第三方面隊	南部	膳所分団	令和4年	8	A-2	いすゞ	エルフ(4WD)	CD-1
		富士見分団	平成13年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		晴嵐分団	平成18年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		石山分団	平成28年	8	A-2	いすゞ	エルフ(4WD)	CD-1
		南郷分団	平成11年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		大石分団	平成10年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
	東部	田上分団	平成17年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		瀬田分団	平成24年	8	A-2	日野	デュトロ	CD-1
		瀬田南分団	平成29年	8	A-2	いすゞ	エルフ(4WD)	CD-1
		瀬田北分団	令和2年	6	A-2	トヨタ	ダイナ(3.5t未満)	CD-1
		瀬田東分団	令和4年	8	A-2	いすゞ	エルフ(4WD)	CD-1
		上田上分団	平成22年	8	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
		青山分団	平成21年	10	A-2	トヨタ	ダイナ	CD-1
計 35台								

■　小型ポンプ積載車　　［令和7年4月1日現在］

分団名	配置班	車両				積載ポンプ		
		年式	車名	車種・規格等	定員	メーカー	年式	級別
本部分団		H22	いすゞ	エルフ	6	シバウラ	H22	B2
和邇分団	小野班	H13	トヨタ	ダイナ	6	トーハツ	H13	B2
和邇分団	栗原班	H13	トヨタ	ダイナ	6	トーハツ	H13	B2
和邇分団	今宿班	H16	ダイハツ	ハイゼットデッキバン	4	トーハツ	H3	B3
和邇分団	小野学区班	H16	ダイハツ	ハイゼットデッキバン	4	トーハツ	H3	B3
和邇分団	和邇春日班	H11	ダイハツ	ハイゼットデッキバン	4	トーハツ	H3	B2
和邇分団	南浜班	H5	ダイハツ	ハイゼット	4	トーハツ	H5	B3
和邇分団	中浜班	H4	ダイハツ	ハイゼット	4	トーハツ	H5	B3
和邇分団	北浜班	H5	ダイハツ	ハイゼット	4	トーハツ	H5	B3
木戸分団	南船路班	H15	トヨタ	ダイナ	6	トーハツ	H15	B2
木戸分団	南比良班	H11	トヨタ	ダイナ	6	トーハツ	H11	B2
木戸分団	北船路班	H15	ダイハツ	ハイゼットデッキバン	4	トーハツ	H2	B3
木戸分団	荒川班	H15	ダイハツ	ハイゼットデッキバン	4	トーハツ	H2	B3
木戸分団	守山班	H4	ダイハツ	ハイゼット	4	トーハツ	H4	B3
木戸分団	大物班	H5	ダイハツ	ハイゼット	4	トーハツ	H5	B3
小松分団	北比良班	H15	トヨタ	ダイナ	6	トーハツ	H15	B2
小松分団	南小松班	H11	トヨタ	ダイナ	6	トーハツ	H11	B2
葛川分団	貫井班	H8	ダイハツ	ハイゼット	4	トーハツ	H8	B3
葛川分団	坂下班	H19	トヨタ	ダイナ	6	トーハツ	H19	B3
伊香立分団	途中班	H9	ダイハツ	ハイゼット	4	トーハツ	H9	B3
伊香立分団	龍華班	H20	スバル	サンバーデッキバン	4	ラビット	H20	B3
伊香立分団	南庄班	H26	スズキ	エブリイ	4	ラビット	H26	B2
山中比叡平分団	比叡平班	R5	スズキ	エブリイ	4	シバウラ	R5	B3
膳所分団	膳所班	H6	スバル	サンバー	4	ラビット	H6	B3
南郷分団	畑班1号車	H24	スバル	サンバー	4	ラビット	H24	B3
南郷分団	畑班2号車	H2	ダイハツ	ハイゼット	4	ラビット	S62	B3
大石分団	富川班	H10	スバル	サンバー	4	ラビット	H10	B3
大石分団	小田原班	H21	スバル	サンバーデッキバン	4	ラビット	H21	B3
大石分団	曽束班	H22	ダイハツ	ハイゼットデッキバン	4	トーハツ	H22	B3
田上分団	関津班	R3	トヨタ	ダイナ（トラック）	6	トーハツ	R2	B3
上田上分団	新免班	H25	ダイハツ	ハイゼット	4	トーハツ	H25	B3
青山分団	桐生班	S59	トヨタ	トヨエース	4	トーハツ	S59	B3
計　32台								

■　小型ポンプ（手引き等）配置状況　　［令和7年4月1日現在］

分団名	配置班	年式	メーカー	級別	分団名	配置班	年式	メーカー	級別
小松分団	北比良班	H12	トーハツ	B2	石山分団	寺辺班	S49	トーハツ	B3
小松分団	南小松班	H14	トーハツ	B2	石山分団	平津班	S59	トーハツ	B3
小松分団	北小松班	H14	トーハツ	B2	南郷分団	千町班	S60	ラビット	B3
葛川分団	細川班	H25	ラビット	B3	南郷分団	南郷班	S63	トーハツ	B3
葛川分団	平班	H8	トーハツ	B3	南郷分団	赤尾班	H5	ラビット	B3
葛川分団	町居班	H12	ラビット	B3	南郷分団	畑班	H21	トーハツ	B3
伊香立分団	上龍華班	H4	ラビット	B3	大石分団	龍門班	R5	シバウラ	B3
伊香立分団	下龍華班	R7	ラビット	B3	大石分団	淀班	H20	シバウラ	B3
伊香立分団	北在地班	H2	ラビット	B3	大石分団	中班	S56	ラビット	B3
伊香立分団	上在地班	H1	トーハツ	B3	大石分団	東班	H13	シバウラ	B3
伊香立分団	龍華班	S54	ラビット	B3	田上分団	稲津班	H11	トーハツ	B3
伊香立分団	生津班	S61	トーハツ	B3	田上分団	黒津班	S62	トーハツ	B3
伊香立分団	向在地班	H18	ラビット	B3	田上分団	里班	S62	トーハツ	B3
伊香立分団	下在地班	S54	ラビット	B3	田上分団	羽栗班	H21	トーハツ	B3
仰木分団	上仰木班	H20	シバウラ	B3	田上分団	石居班	H元	ラビット	B3
仰木分団	辻が下班	H9	トーハツ	B3	瀬田東分団	月輪班	S58	ラビット	B3
仰木分団	下仰木班	S62	トーハツ	B3	瀬田南分団	神領班	S38	ラビット	B3
仰木分団	平尾班	H4	トーハツ	B3	上田上分団	大鳥居班	H3	ラビット	B3
仰木の里分団	仰木の里班	H6	トーハツ	B3	上田上分団	堂班	H5	ラビット	B3
真野分団	中村班	S53	トーハツ	B3	上田上分団	芝原班	H29	シバウラ	B3
堅田分団	柳田班	S48	トーハツ	B3	上田上分団	中野班	H25	ラビット	B3
堅田分団	小番城班	S59	トーハツ	B3	上田上分団	平野班	H20	シバウラ	B3
堅田分団	今堅田班	S47	トーハツ	B3	計　54台				
堅田分団	衣川班	S48	トーハツ	B3					
堅田分団	天神山班	S61	トーハツ	B3					
雄琴分団	千野班	S59	トーハツ	B3					
雄琴分団	雄琴班	H8	ラビット	B3					
雄琴分団	苗鹿班	H元	トーハツ	B3					
坂本分団	坂本班	H27	シバウラ	B3					
唐崎分団	唐崎班	S60	ラビット	B3					
山中比叡平分団	山中班	H10	ラビット	B3					
藤尾分団	藤尾班	S38	トーハツ	B3					

大津市民憲章

わたくしたち大津市民は

一郷土を愛し琵琶湖の
美しさをいかしましょう

一豊かな文化財を
まもりましょう

一時代にふさわしい風習を
そだてましょう

一健康で明るい生活に
つとめましょう

一あたたかい気持ちで
旅の人をむかえましょう

OTSU

大津市の鳥　ゆりかもめ
大津市の木　山桜
大津市の花　叡山すみれ

OTSU CITY FIRE DEPT.
大津市消防局

〒520-8575　滋賀県大津市御陵町3番1号
TEL　077-525-9901
FAX　077-525-9904
Mail　otsu2301@city.otsu.lg.jp

災害情報案内　TEL: 077-523-1000
ホームページ　http://www.city.otsu.lg.jp/fire119/

大津市では消防団員を募集しています。
詳しくは消防総務課までお問い合わせください。
消防総務課　077-525-9901